

第2回 青森市総合計画審議会 第4分科会 議事要旨

【日 時】平成30年7月4日（水）9時55分～11時40分

【場 所】青森市役所本庁舎 議会棟4階 第2委員会室

【出席者】井上 隆 分科会長、大坂 美保 委員、木村 克己 委員  
本田 明弘 委員、森内 忠良 委員 計5名

【欠席者】なし

【オブザーバー・傍聴者等】なし

【事務局】廣津総務部参事危機管理監危機管理課長事務取扱

竹内環境部参事廃棄物対策課長事務取扱

若佐谷環境部参事清掃管理課長事務取扱

西澤環境政策課長、西村下水道総務課長、高村公園河川課長、

佐々木道路維持課長兼道路補修事務所長、熊谷用地課長、星出建築営繕課長、

木村石江区画整理事務所長、小田道路建設課副参事、松尾下水道整備課副参事、

小鹿企業局水道部長、多田企業局交通部長、

田澤青森地域広域事務組合総務課長、

長谷川青森地域広域事務組合消防本部警防課長

進藤青森地域広域事務組合消防本部警防課副参事

小川企画部長、舘山企画調整課長、角田企画調整課主事、久保企画調整課主事  
計21名

【配付資料】

- ・次第及びタイムスケジュール
- ・第1回分科会の御意見のうち課題（案）に反映したもの以外の御意見の取扱い
- ・各行政分野の課題（案）及び目指すべき方向性（案）

【会議の概要】

○配付資料の見方を確認したのち、各行政分野の課題（案）及び方向性（案）について、各委員が意見を出し合った。

○審議、質疑応答の概要

「まちづくり」分野の課題（案）

（委員）

- ・3/7 ページ【広域交通の充実】に関する課題（案）において、新幹線や高速道路など交通の課題について整理しているが、青森操車場跡地の活用における交通の拠点も課題として書き込んでどうか。

（事務局）

- ・同ページ1番上の○印の課題（案）3行目に鉄道、空港、港湾それぞれの機能充実と

いう記載があり、この中の鉄道の機能充実という部分に、青森操車場跡地の新駅の検討を含んでおり、今後、本計画を具体化していく中で、組み込んでいくことになる。

(委員)

- ・「持続可能」という言葉を複数の箇所に記載しているが、この言葉をもう少しイメージ出来るような説明をした方が良いと思う。
- ・1/7 ページの左から3 枠の3 つ目の○印の課題（案）「持続可能な都市構造への再構築を図る」という部分の「持続可能」という言葉を、もう少し具体的なイメージで説明いただきたい。

(事務局)

- ・都市の無秩序な拡散を抑制し、都市機能の集積を促進する集約拠点とその他の地域を公共交通ネットワークで有機的に連携させるというイメージである。

(委員)

- ・「持続可能」とは、青森市の場合、市街地が各地域に広がらないように規制を加え、市が管理できる範囲内というくらいの意味で使っているのだらうという風に理解してよろしいのではないか。
- ・東部地区は市街化調整区域が多いため、まちづくりとすれば、活発に開発ができない地区である。

#### 「防災・雪対策」分野の課題（案）

(委員)

- ・避難所の設営・運営に関する記述が乏しいと思う。実際に、防災士の方々の携わりもそうだが、町（内）会では、高齢者が多いため、実際に避難した時に対応が弱いのではないかと思う。また、外国人の旅行客の対応等も必要ではないかと思う。

(事務局)

- ・この後、別途整理し、提示させていただければと思う。

(委員)

- ・避難所運営については、住民の方は市役所職員が全部やるものだと思っているから、自分たちの地域は自分たちで守るという意識も少しは入れていただきたいと思う。
- ・自主防災組織結成率の増加と消防団の確保は必要なことだが、何となく唐突に出てきているような感じがする。関係機関への連携が必要だというようなことは、どこかに少し書き込んでいただければ良いと思う。
- ・雪対策のところで、5/7 ページの市民の雪処理への多様化や、高齢者世帯の増加に伴い、共助の仕組みによる雪対策とともに、雪処理方法についての検討というように、地域によっては雪対策方法の検討が必要とか、特に雪処理装置の検討を付け加えていただければと思う。

### 「防災・雪対策」分野の課題（案）

（委員）

- ・平成 30 年度青森市民意識調査結果（速報値）で、「あなたはこの 1 年間にゴミ拾いや植林活動などの自然保護活動に参加したことがありますか。」の質問に対し、実際に参加しているのは、20%を少し超える程度だが、そのつもりがあると回答した人は約 47%いて、きっかけや機会さえあればやっても良いという人が多く、これは評価できると思って感心しているところである。こういう人達を引き出すきっかけづくりを具体的な施策の段階で課題になってくるかと思う。

### 「まちづくり」分野の目指すべき方向性（案）

（委員）

- ・「居住や都市の生活を支える都市機能の立地を促進」するというのは、少しイメージとしてわかりにくいことから、文言の整理をお願いしたい。
- ・まちづくりの今の一番喫緊の課題がヤード跡地ではないかなと思うが、それに少し触れられていないような感じがする。方向性として、ヤード跡地の活用・推進というような項目を載せてほしい。

（事務局）

- ・「コンパクトな複数の拠点」という中に、ヤード跡地だけではなく、青森駅周辺や新青森駅周辺、浪岡駅周辺という、いくつか拠点が有り、全体の方向性としては複数の拠点という表現をしている。今後、さらにこの下に施策がぶら下がってくる段階で、それぞれの拠点について触れることになるかと考えている。

（委員）

- ・今年、新中央埠頭の方に豪華客船が 25 隻程来るということで、防災士の観点からすれば、緊急時や災害時に物資の運搬の拠点ともなる。よって、ここを活用して船による避難も考えられる。この部分は別の分野の方向性で考えていると思うが、大まかにこの文言にも含まれていると理解して良いか。

（事務局）

- ・「防災・雪対策」分野の防災の方向性と、ここの港湾の文言に含まれている。

（委員）

- ・また、ターミナルになるというだけではなく、重油を給油する場所なども必要ではないかなとは思いますが、この大きな枠の中に含まれているというのは理解している。
- ・物を動かす場合も、人を何かの場合に避難させて動かすときにも、ここで言う道路、鉄道、空港、港湾それぞれの機能充実の中に含まれるという風に理解できれば良いと思う。
- ・3/7 ページの右端の 1 番上ですが、公共交通として、特に鉄道とバスなどは、かなり重要で、これらのコネクションを上手にすると、高齢者を含め、多くの市民の移動の

利便性が向上すると思う。しかし、「道路、鉄道、空港、港湾」となると、どうしてもハードの方しか考えられない。

- ・ここは、インフラとしての施設のところを言っていて、次の方向性の、「公共交通機関の相互連携や利便性の向上により」、「公共交通ネットワークの形成を図る」というところで、ソフトの話が出てくると思う。

#### 「防災・雪対策」分野の目指すべき方向性（案）

（委員）

- ・わかりやすくまとめている。
- ・空家等対策の推進で、対応する法律や条例を踏まえるべき環境変化のところに記載すれば課題にも繋がっていくとを感じる。
- ・克雪体制の整備について、課題のところで、効率的・効果的な雪対策を推進する、方向性のところで、効率的・効果的な除排雪を推進するとあるが、今、除排雪を行っている 40 代、50 代の人達が高齢になったときに、誰もやる人がいなくなるのではないかと、市民は心配している。このことから、効率的・効果的・持続可能な除排雪の推進とか、効率的・効果的な、かつ継続性のある雪対策の推進という風に文言を入れた方が、市民が見たときに、少し安心できると思うので検討していただきたい。
- ・空家等対策の推進の部分について、危険な空家に対する行政的な撤去の推進という文言の追加などはいかがだろうか。言葉で強く言ってしまうといけないと思うが、市民とすれば心配な部分である。

（事務局）

- ・法律上はそこまでやることになっている。それを踏まえ、この方向性の部分は事務局で添削を繰り返して、記載のとおりとなっている。

（委員）

- ・相続人が多数いたり、所有者の承諾が得られず壊せないなど難しい部分がある。
- ・事務局案の記述が良い。

#### 「環境」分野の目指すべき方向性（案）

（委員）

- ・里山とは、イメージとしては大体どの辺までを考えているのか。

（事務局）

- ・定義としては様々な言葉があるが、人里に近く、薪や山菜を採るなど、生活に関わりの深い、小さい山などをイメージしている。

（委員）

- ・市内のどの辺りが里山なのか具体的なイメージが必要なのではなかろうか。具体的には書かなくてもいいが、里山のイメージを市民にもわかりやすい言葉で表現した方が

いいのではないか。

- ・陸奥湾の資源の保全の部分で、関係団体という言葉は違和感がある。

(事務局)

- ・先般、陸奥湾フォーラムで沿岸の 8 市町村長が手を組み、環境保全に加えて、新たに産業振興、観光振興に取り組むこととなった。その中で、「関係団体も含めて」、と言っている中には、経済団体、漁業協働組合等の産業団体も入っており、環境に関する NPO 団体等も複数ある。そのような団体が自主的に水質保全に関するフォーラムを行うなど、様々な活動をしていることから、そのような団体も含めて一緒にやっていくという意図である。

(委員)

- ・港湾とか国のこともあることから、そこまで含めて入れなくてもいいのではないかと考えたが、事務局案のとおりで良い。
- ・浪岡の下水道は大分進んでいると考えてよろしいか。

(事務局)

- ・浪岡は、現在の下水道普及率は 71.7%となった。その他に浪岡地区は農業集落排水という施設もあり、それを含めると、89%程になる。

○次回開催の分科会の日程等に関する事務連絡を行い解散。